

くうりずんの会主催の政府交渉> 4度のIUCN決議を履行せよ！

5月31日に沖縄選出野党国会議員「うりずんの会」が主催した政府交渉に参加しました。

沖縄県名護市議会「環境監視等委員会の透明性を確保し、辺野古・大浦湾の現地調査を行い名護市議会への説明を要請する意見書」（防衛省宛H27年5月14日）、及び「IUCNの協力を受けるように日本政府に求め、及び沖縄県がIUCNに協力を要請することを求める意見書」（外務省、環境省宛H29年3月24日）について交渉しました。

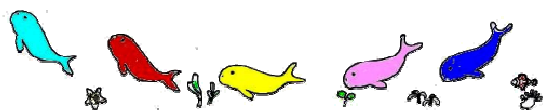
防衛省交渉では

①H27年5月に提出の名護市議会意見書が、環境監視等委員会に回付されていないことが明らかになり、名護市議会を軽んじる防衛省に抗議、今後回付することを約束させました。

②H26年5月から7月には大浦湾西側、美謝川河口域で150本のジュゴン食み跡が発見されて以降、大浦湾でジュゴンが発見されていません。沖縄防衛局のH27年度事後調査（27年4月～28年3月）でも明らかです。H26年7月以降の海底ボーリング調査のためのフロート設置が影響を与えていることに間違いありません。

この事後調査資料を環境監視等委員会で検討し、ジュゴンが大浦湾に回遊していない原因を明らかにすることを強く求めました。

*7月7日に第8回環境監視等委員会でこの問題が取り上げられました。しかし、ジュゴンが大浦湾からいなくなった原因について掘り下げた議論をしてはいません。さらに追及が必要です。



環境省、外務省交渉では

① IUCN 事務局長が名護市議会議長宛に返書「沖縄県名護市辺野古及び大浦湾における米軍基地建設に係る日米政府の計画に関する回答」（2017年2月17日）で、昨年9月のIUCN世界自然保護会議の決議20をふまえて

「日本政府に対して辺野古の外来種侵入経路に着目するように呼びかけ、さらに外来種の侵入を防ぐよう適切な措置を講ずるよう」に求めています。環境省、外務省はこの事実を認めました。

しかし、「決議20に基づき、日本政府の要請があれば…すべての主要な関係機関と協力させていただく」との申し出を拒否し、「防衛省が適切な対応をする」との態度に終始しました。

②IUCN 事務局長が協力を申し出たのは、日本政府が2018年世界自然遺産に推薦した「やんばるの森」への外来種の影響を危惧しているからです。世界自然遺産登録の最大の課題が外来種対策です。この夏にはユネスコの依頼を受けて、IUCN がやんばるの森などに現地調査に入ります。環境省が期待している防衛省は、辺野古の外来種対策について環境監視等委員会で議論する日程すら決まっています。この夏のIUCN現地調査には間に合うはずありません。この点を厳しく追及しましたが、環境省は下を向いたままでした。日本政府・環境省が2018年世界自然遺産登録を真剣に考えているのかどうか疑問です。

（事務局 蛭川義章）



防衛、環境、外務省がそろった場面
発言しているのは伊波洋一議員



クレーン車で石の入った袋が積まれる K9 護岸
(7/2 じゅごんの里ツアーで)

コラム

沖縄県が埋め立ての差し止めを提訴



6月14日、沖縄県議会は翁長知事が提案した「辺野古埋め立て工事の差し止め国を提訴する議案」を採択しました。工事中止を早期に求める仮処分もあわせて7月中にも提訴されると思います。安倍内閣は「漁協から漁業権を買い上げたから県の岩礁破碎許可は不要」と工事を強行しています。しかし、漁業権は排他的な所有権とは異なり、水産資源の乱獲を防ぐために、行政が利害関係を調整する責任を持っています。農林水産省の考えも同様です。また、翁長知事は一方的に工事中止命令ができる「埋め立て承認撤回」について、今後の裁判の展開を見据えながら「今の工事のあり方などを含めて

考えると、埋め立て承認の撤回は十二分に検討に値する」としています。

沖縄防衛局が強行している K9 護岸工事は 100m 地点でストップしています。砂利の洗浄設備がある本部町にある採石場との契約が終わったからです。また、大量の資材を搬入する工事用仮設道路が未完成のため、K9 護岸工事残り 200m が継続できないのです。自らの実施設計を無視し、行き当たりばったりの工事強行が破綻し、県民の反対運動をあきらめさせる政治的な思惑が失敗しています。台風シーズンに入ると実施設計を無視した矛盾が一気に吹き出すことは間違いありません。

(事務局 蛭川義章)

9・3 シンポ&コンサート in 那覇にご参加を

9月3日にシンポジウムと海勢頭コンサート「世界が見ている。ユネスコ/IUCN 調査団が沖縄に」「やんばるの森と辺野古の海を守ろう」を那覇市パレット市民劇場で開催します。主催は9・3シンポジウム実行委員会、事務局はSDCCです。この夏にも、ユネスコの委託を受けてIUCN（国際自然保護連合）が、やんばるの森などの2018年世界自然遺産登録の調査のために沖縄に来ます。

私たちはIUCN本部に、昨年9月第6回IUCN世界自然保護会議（ハワイ）の決議「島しょ生態系への外来種の侵入経路管理強化を求める決議」など4度のIUCN勧告・決議をふまえて現地調査することを求めてきました。

IUCN本部は、4度のIUCN決議の履行を求めた名護市議会の意見書（昨年9月）への返書（今年2月）

で、「日本政府が辺野古埋め立て土砂の外来種対策を行うことを求め、日本政府が求めるならばIUCNは積極的に協力する」と日本政府に辺野古埋め立て土砂の外来種対策を強く求めています。5月にもIUCN世界自然遺産調査の責任者から同趣旨の返書が沖縄県知事に送られています。世界自然遺産の大敵は外来種です。主務官庁の環境省は辺野古に係る環境問題を防衛省に丸投げしています。防衛省は諮問機関である環境監視等委員会で外来種対策を議論していません。4月の政府交渉で、環境省はIUCN現地調査の際に沖縄県や我々IUCNメンバーとの意見交換の場を持つことを検討することを約束しています。IUCN現地調査の時期に合わせた9・3シンポジウムとコンサートの開催は、新基地建設反対の世論をさらに大きくするチャンスです。ぜひ、ご参加ください。

9.3 シンポ&コンサート

「世界が見ている。ユネスコ/IUCN 調査団が沖縄に」「やんばるの森と辺野古の海を守ろう」

とき : 9月3日午後1時~4時半（開場12時半）

会場 : パレット市民劇場（沖縄県庁前パレットくもじ7階）

資料代 : 500円

（プログラム）

あいさつ：稲嶺進名護市長（予定）。安次富浩ヘリ基地反対協共同代表

特別報告：東恩納琢磨名護市議会議員「IUCN本部からの手紙」

パネラー：桜井国俊沖縄大学名誉教授「辺野古埋め立てと世界自然遺産」

パネラー：吉川秀樹SDCC国際担当「沖縄ジュゴン保護と国際連帯」

シンポ司会：真喜志好一沖縄環境ネット世話人



東京

6月10日国会包囲行動

6月10日午後2時から3時半にかけて、「止めよう 辺野古埋立て。共謀罪法案は廃案に 国会大包囲」行動を1万8千人の参加で成功させました。国会議事堂を国会包囲実、共謀罪NO!実、1000人委員会、憲法共同センターなどで4ブロックに分かれて集会を開催しました。私たちが参加したAブロックでは集会冒頭、「辺野古に基地はつくらせないぞ」などのコールをあげて、全員で「座り込め、ここへ」を合唱。主催団体の大城浩・沖縄県民会議事務局長から「きょう午前中に、辺野古ゲート前で1800人が連帯集会を開いた」と報告がありました。沖縄からは稲嶺進名護市長・オール沖縄会議共同代表、安次富浩・ヘリ基地反対協共同代表が参加。「辺野古断念まで絶対あきらめない」、「山城博治さんの長期拘留という人権無視は、共謀罪の先取り。成立させてはならない」と力強くアピールしました。私たちはAブロックに参加、ジュゴン帽子をかぶって、横断幕を持って。最後に統一コールに合わせてカチャーシーをしながら国会正面の歩道を三度渡りました。

国会包囲に参加して

梅雨入りの時期で天気心配でしたが、当日は快晴。集会開始前には、参加者が国会の周りに続々と集ってきました。政府の埋立工事強行姿勢や、沖縄ヘイトの蔓延に対する不安も吹き飛びました。

稲嶺名護市長は元気に「勝つまで諦めない」と頼もしいスピーチ。辺野古土砂搬出反対連絡協や首都圏で新基地反対に取り組むグループ等多くの団体から挨拶があり、沖縄に連帯する闘いが着実に広がっていると感じました。当日のカンパが375万円を超えたと聞いて、胸が熱くなりました。SDCCからは10名の仲間が参加、会場の中央付近で大きな声を上げました。

政府は辺野古、高江で機動隊を動員し、座り込み参加者やカーン隊になりふり構わぬ暴力で排除を続けています。共謀罪まで制定し、新基地建設反対運動を押し潰そうとしているのです。

今こそ本土からの声を、もっともっと広げ大きくしていかなければと思います。

屈しない! がんばりましょう。(首都圏 蟹江)



参加者は前回から約1万人少なく、さらなる広がりをつくることはできませんでした。しかし、宮古島や石垣島などへの自衛隊配備反対のウォークやエイサーなど、国会包囲の中で様々な自主的な取り組みが行われました。また、秋田、富山、石川、愛知、大阪などでもデモや集会が持たれています。(事務局 蛸川義章)



大阪

写真: Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクション



大阪でも中之島公園で国会包囲同時アクションが行われ、集会後のデモには、共謀罪反対の若者も合流しました

「宮森・630を伝える会」

58年前に起きた「沖縄・宮森小学校の米軍ジェット機墜落事件」を、語り継ぐために首都圏で活動する「宮森・630を伝える会」と一緒に、6月18日に明治学院大学で映画上映と講演会を行いました。

映画は、中井信介監督の「美ら海を未来へ〜辺野古・高江、基地建設反対に寄せる思い」。映像を通して沖縄の人々が命の海・美ら海とやんばるの森を未来へ引き継ぐために、辺野古や高江で必死で闘っている思いが丁寧に描かれており、好評でした。

講演は、元琉球朝日放送記者で現在は早稲田大学ジャーナリズム研究所に所属している大矢英代さんの「あなたの知らない沖縄」。

大矢さんの瑞々しい感性と深い探究心で語られた沖縄が歩んだ歴史、戦争マラリア等まだまだ知られていない沖縄戦の事、離島の事、基地問題、日米地位協定の事など、多岐にわたった話は、「沖縄問題に詳しいと自負している人達」に強い刺激を与えたようです。

英代さんの三線でさらに盛り上がった講演会でした。

(首都圏 宮城韶子)

今年のツアー（6/30-7/2）は、12 回目ということ意識していました。最初の頃は、名護市役所を訪問するなんて考えられませんでした。稲嶺市長が誕生してから様子が変わり、今では職員さんが1 時間レクチャーしてくれます。基地を抱える市政の大変さを知ることができ、また、行政と市民が協力して基地問題に取り組んでいるのはすごいと感じます。辺野古座り込みテント村は前段も含め21 年目、キャンプシュワブゲート前では4 年目の座り込みが続けられています。船でフロートに近づきK9 護岸を見ました。辺野古唯一とあの手この手で作業が強行されていますが、まだほんの一部。まだ、造らせていません！これまでつながってきた辺野古でがんばる人たちとの再会で力をもらい、まだまだこれからと気持ちを強くしました。参加した皆さん、これから一緒に行動していきましょう！

1 日目

「普天間居場所づくりプロジェクト」の「そいそいハウス」
名護市役所訪問

2 日目

辺野古テント村、松田ぬ浜、船で大浦湾めぐり、
シュワブゲート前テント、ピースキャンドル



船で工事が行われている
K9 護岸のすぐそばまで
行きました



普天間基地に隣接する
普天間第二小学校



赤嶺さんから、誰もが安心して集える
平和と人権を発信する居場所づく
りについてお聞きしました

第12回じゅごんの里ツアー

ゲート前は1091
日、浜のテントは
8年と4822日あ
きらめない闘いが
続きます



3 日目

カヌーと散策
二つのコース

天然記念物に指定されている天仁屋
の褶曲地形をカヌーで見学



平島に上陸。シュノーケル
を楽しみました

海から戻りシュワブ
ゲート前へ。テント
で最近の厳しい状況
についてなどお話し
いただきました



浦島さんの案内で、東海岸散策
すなっくスナフキンの展示室で西平
さんからお話を聞きました

初参加者おふたいから

海はまだ生きている 小村滋さん

辺野古の沖。船から飛び込んだ海は、サンゴ礁の上だった。シュノーケルのマスク越しに、紫色や黒っぽい、小さな魚の群れが、キノコの傘のようなサンゴの間から湧くように泳いでいた。恐らく、この下で魚やカニ、エビなどを育む生態系ドラマが繰り広げられているのだろう。テレビや映画で見た世界が今、眼前にある。ジュゴンには会えなかったけど、ツアーで最も感動した瞬間だった。

その2 時間ほど前、船は江間(ていま) 漁港から大浦湾に出た。湾の半分以上に立ち入り禁止の黄色いフロートがのさばる。K9 護岸に向かった途端に海保船のスピーカーが怒鳴り立てる。防衛局の船が併走し、平島まで尾行し続ける。この海は、安倍政権の占有ではないぞ。

「風(かじ) かたか」になろう 坂本保子さん

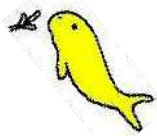
フェイスブックで知り、初参加したじゅごんの里ツアー。予想どおり(それ以上かな)に充実した内容だった。来年もリピーターになりたいし、こんなにも凝縮したツアーを他の人にも推薦しなくてはと思う。「沖縄」の綿々と続く「あきらめない」。それを体現している彼女、彼たちと身近に出会うことができたんだから。企画されたSDCCに感謝です。

江間(ていま) 漁港から平和丸に乗り込み、ジュゴンがいる大浦湾にこぎ出す。フロートで囲まれた「K9 護岸」に近づくと網袋に入った石をクレーンで積みあげ、きれいな海を痛めつけていた。「危険地域です。すみやかに退去してください」と威嚇する海上保安庁。でも船長さんはいは「本格工事には程遠いのに、辺野古の埋め立てが着々と進められ、後戻りできないと市民に思わせようとしている。政府の宣伝に騙されないで」。

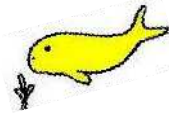
私たちは本当のことをしっかり受け止め、伝えていかなければならない。米軍キャンプの境界フェンスには、全国から寄せられたピースリボンが結びつけてある。そのなかで「一人一人が風(かじ)かたか」のバナーを見つけた。そう、「風かたか」になろう！

(*風かたか=風よけという意味)

報告



牧志治さん写真展&お話し会 ～at 大阪～



「おきなわ写真展 子や孫に残したい海～辺野古・大浦湾～」と題して、5月20、21日レンタルスペースチャクラで、5月22日～6月18日 MAGATAMA cafe×dining で写真展を開催、6月4日は写真家牧志治さんのお話し会を開きました。『辺野古が唯一』と思考停止し、話し合う姿勢すら見せず、作業を強行する安倍政権。こんな愚行が許されていいはずがない。けれど許してしまっている現状が悔しい、もどかしい。辺野古で何が起きているのかを多くの人知らないままに、自然豊かなジュゴンのすむ海が壊される…おかしい。政治を変える世論の大きな力がほしい、そんな思いで写真展を続けています。

今年は場所選びに力を注ぎました。日本一長い天神筋橋商店街、土日は特に人通りが多く賑わいます。その通りにあるレンタルスペースを借りることが出来ました。「沖縄の海の写真展やってます」「海の生き物たちの写真です」と呼びかけるとちょっと見ていこかと家族連れやカップルなど多くの人が立ち寄ってくれました。

知らなかったとじっくり話を聴いて下さったり、こんなき



れいな海壊したらあかんわという方、「戦争はあかんよ」と年配の方、ふらっと散歩の途中と寄って下さった方もいました。「難しい問題やな」「辺野古容認なんや」という方もいて、そういう方とこそお話できて良かったと思っています。観光客も多く、台湾の方は活動支援になるんだよねとグッズを買ってくれました。

MAGATAMA では、カフェ営業中の展示で、お客さんがちらっと写真を見て、少しでも辺野古のことに気持ちを向けてくれたらと期待していました。記念ハガキを買ってくれたり、わざわざメッセージを書いてお店の人に託してくれた方もいました。広がりを感じる写真展となりました。

お話し会では沖縄から牧志治さんに来て頂きをしました。美しい海の映像に魅せられ、直接お話しを聴くことができ、牧志さんの海を愛する思いが伝わってきました。

“この海は、沖縄の宝、世界の宝” 守っていこうという気持ちを共有できたと思います。

このような写真展続けていきたいと思っています。

(関西 池側恵美子)



ぶどうの木保育園 ～ 出張授業 5 年目



6月6日に京都府八幡市にあるぶどうの木保育園に出張授業に行きました。7月に3泊4日で沖縄に平和キャンプにいく園児たちに向けて、沖縄やジュゴンの話をさせてもらいました。

来年小学1年生になるという子どもたちは、好奇心旺盛です。沖縄の海の映像やお話に驚き、ジュゴンクイズに元気に答えてくれました。実寸大のジュゴンのパネルを使って、子ジュゴンがどうやっておっぱいを飲むのかも、あてっこしました。

授業後は子どもたちと一緒におやつをいただきました。教室にはジュゴンの折り紙の作り方やジュゴンの生態などが貼ってあって、子どもたちが自慢げにかわいく紹介してくれました。

5年前から毎年出張授業をさせてもらっていて、今回は6度目です。授業は年1回ですが、5年間関わりを持てたこ

とで、日々の園の活動にもジュゴンのことが取り入れられていることがよくわかりました。

ジュゴンや沖縄の海の素晴らしさが子どもたちの心にずっと残ってほしいと思います。

(関西 正阿彌(しょうあみ) 崇子)



大田さんを悼む ～こらむ・こらむ～

6月12日のお昼すぎ、大田昌秀さん死去のニュースがテレビに流れた。ふと、昨年の「これからの琉球はどうあるべきか」の出版祝賀会以来、疎遠したことを、悔いた。呼吸不全で、那覇市内の病院に入院中だったという。この日が、92歳の誕生日で、見舞っていた教え子の玉城眞幸さんと、ハッピーバースデーを歌い終え、そのまま息を引取ったとのこと。

凄まじい大田さんの人生。怒りを爆発させてばかりでいた。だが、私には、何時も優しい「昌秀おじさん」だった。それを思うと、自分の冷たさが恥ずかしい。その日、病院にも通夜にも行かず、翌13日には東京に飛んだ。JR 東労組結成30周年大会に呼ばれたからだ。2002年11月1日。共謀罪法を先取りした国家による冤罪事件が、JR 東労組浦和電車区労働者7名に仕掛けられた。

以来、国家権力との闘いを支援してきた。かつて国労支援で、全交とは仲が悪かった JR 総連系の東労組だが、今や、そんな時代じゃない。

翌14日、藤原書店との編集会議を終え、夕方の便で沖縄に戻った。搭乗前に、告別式での音楽をお願いとの連絡があった。急いで家に帰り、音作りをした。そして、明けて15日が、大田昌秀さんの告別式だった。その日早朝に「共謀罪」法が、成立。重苦しいまま式場に向かうと、待っていた秘書の桑高さんや玉城眞幸さんが、「是非、生演奏でお願い」ときた。やむなく、愛とみちさに連絡し、駆けつけてもらった。

そして、13時30分に始まった一般焼香の2時間を、3人で務めた。曲は、思いつくまま。「月桃」「喜瀬武原」「さとうきびの花」など。みんなから、喜ばれた。ニュース23のエンディングで「月桃」を担当し、現在もTBSのキャスターとして活躍している金平茂紀さんも、懐かしそうに喜んだ。大田さんが、平和の礎をつくる前に、私は「月桃」の歌を作り、平和の礎を完成させた1995年には、映画「GAMA-月桃の花」の撮影中だった。その時、資金難の私を助けたのが、全交の仲間達だった。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

①んさか通信 ★ ジュゴンの①

夏・本番

毎日暑い日が続きますが体調崩されていませんか？

九州北部豪雨、大変な被害になりました。流木が家に突き刺さっている映像は衝撃的です。

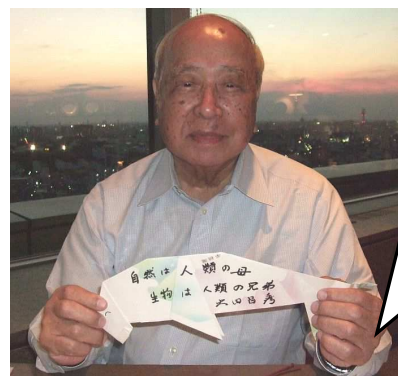
最近の異常気象は地球の悲鳴なのでしょうか。被災された方々が早く普通の生活に戻れますように…。

さて、日本一早く決まる沖縄の高校野球甲子園予選もいよいよ決戦。

沖縄は郷土愛が強い、甲子園の沖縄代表戦の時は仕事しないとか？

プロ野球でもチームはアンチでも「宮国は親が宮古だからね」とか言いながら個人は応援。

相撲開催期間はテレビで「今日の千代皇」というコーナーがあり、中部農林高校出身の十両の取組をオンエアする（実は出身は与論島、だけど沖縄の高校に進学してるから）。



2010年のCOP10折り紙プロジェクトへ、ジュゴン折り紙にメッセージを下された大田元知事。
「自然は人類の母—生物は人類の兄弟」
(Vol.52・'10.9.21・8面参照)

そんな「沖縄愛」が強い島。

「沖縄には平和力がある」と話してくれた大田昌秀元知事が先月、自身の誕生日である6月12日に92歳で旅立られた。

「自分は傷ついても寝られるけど、人を傷つけたら眠れんさ」と優しく話していた姿が思い出される。

（沖縄・小平）

《 今後のスケジュール 》

<首都圏>

- ・8/12(土)「翁長知事を支え、辺野古に新基地を造らせない 沖縄県民大会」に呼応する8/12 首都圏行動
14時～15時アピール、終了後デモ行進
場所: 東池袋中央公園 (豊島区東池袋3-1-6)
- ・8月ミーティング 10日(木) 24日(木) 19時～
場所: 飯田橋の首都圏事務所

<関西>

- ・8/17(木) じゅごん茶話会 @京橋事務所 14時～ 200円
- ・8/27(日) STOP! 辺野古新基地建設! 大阪アクション3周年 辺野古を止める「ひとり」になろう 14:30～ 終了後デモ
場所: PLP会館5F (大阪市北区天神橋3-9-27)
- ・関西ミーティングは、毎週火曜日 19時～ (8/15は中止します)
場所: 京橋の関西事務所

<沖縄>

- ・8/12(土)「翁長知事を支え、辺野古に新基地を造らせない 沖縄県民大会」14時～15時 那覇市奥武山陸上競技場

2017 ZENKO in 東京

第47回全交(平和と民主主義をめざす全国交歓会)が東京で開催されます。

7/29(土) サンパール荒川

7/30(日) シアター1010、北とぴあ

一般料金 2日券2000円、一日券1200円

* ジュゴン保護キャンペーンセンターはブース出展し、7/30(日)に分科会を開催します。

分科会テーマ:

4度のIUCN勧告決議を政府に実行させ、辺野古埋め立て阻止、高江オスプレイ配備撤回・訓練中止を実現しよう

7/30(日) 9:30～12:00 @北とぴあ 805室

挨拶: 海勢頭豊代表

基調報告: 埋め立て承認撤回を国際連帯で支えよう

討議: 埋め立て撤回を実現するために、私たちができること

報告: じゅごんの里ツアー報告、活動報告(東京・大阪)

トピックス 7月8日の琉球新報の記事

「排ガス嫌なら抗議やめろ」警備部長 辺野古の排除対応容認

(抜粋)「県警機動隊が米軍キャンプ・シュワブゲート前で抗議する市民らを排除した後、エンジンをかけた警察車両の横に長時間市民らを留め置いていることについて、県警の重久真毅警備部長は「(警察車両の)排ガスを吸いたくなければ、違法行為をやめていただくことだ」と、県警による市民“制裁”を容認する見解を7日までに示した。弁護士は「違法行為に罰を下すかは裁判所が決めるものだ。警察が制裁を課す法的根拠はなく、傷害罪に該当する」と指摘している。…」

ゲート前で座り込む人々の暴力的な強制排除はあたりまえになっている。そして、この発言。どんな理由があったとしても、意図的に排ガスを吸わせるなんて、酷い人権侵害で、こんなことを許してしまっただけいけない。辺野古からみると、この国は法治国家でも民主国家でもなく、人権をないがしろにする国だとわかる。1つ1つ声を挙げなくてはならない。



9・3シンポ&コンサートin 那覇

日時: 9月3日午後1時～4時半(開場12時半)

会場: パレット市民劇場(沖縄県庁前パレットくもじ7階)

資料代: 500円

詳細は3面をご覧ください

カンパをお願いします!

署名にご協力を!

『沖縄のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナを守ろう』

現在5000筆ほど集まっています。

11月の署名提出に向けて、目標は2万筆!

引き続きご協力よろしくお願いします。



ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.93 2017年7月25日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!